

## 0 ~先生の死~

ひびき先生は、とっても有名なピアニストです。先生には子どもがいなかったので、2人の弟子といっしょに暮らしていました。弟子の名前はこうたろう、たかし。2人とも20才です。

先生は、2人を本当の子どものように教えていました。2人も先生を本当の親のように思っていました。

このところ先生は体の調子が悪そうです。2人も心配していました。

ある時、先生がいいました。「あたらしい曲ができたよ。さっそく聞いてくれるかい？」

流れてきたやさしい音。2人ともすぐに気に入りました。2人を見て、先生もうれしそうです。曲のタイトルは“ひびき”。先生のなまえです。

先生は2人にこういいました。「おまえたちも、才能があるんだから、そろそろ自分の曲を作ってみなさい」「わたしも、おうえんしているよ！」

そう言いのこし、先生は倒れてしまいました。そのまま先生はなくなってしまいました。“ひびき”をのこして。

そして、2人の弟子は、自分の道を歩きだしました。それぞれの夢をもって。